

令和8年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和8年3月5日

質問者（質問順）

- 1 大山 しょうじ 委員（維新会）
- 2 坂本 勝司 委員（国民主）
- 3 白井 正子 委員（共産党）
- 4 長谷川 琢磨 委員（自民党）
- 5 横山 勇太郎 委員（自民党）
- 6 久保 和弘 委員（公明党）
- 7 田中 ゆき 委員（立憲党）

市民局

局 別 審 査

1 大 山 しょうじ 委員（維新会）

1 地域防犯力の向上について

- (1) GISマップによる暗がりの箇所数と割合について伺いたい。
- (2) 暗がりの解消の進め方について伺いたい。
- (3) 暗がりの解消に必要な総コストと電気代について伺いたい。
- (4) 暗がりの解消を進める意気込みについて伺いたい。
- (5) 活動の担い手が不足する中、ながら見守りを強化する方法について伺いたい。
- (6) よこはま安心ボックスの普及に向けて、メリットや使い方などをわかりやすく伝えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) よこはま安心ボックスの購入方法について伺いたい。
- (8) よこはま安心ボックスに係る令和8年度以降の取組について伺いたい。
- (9) よこはま安心ボックスの事業拡大に向けた取組について伺いたい。
- (10) スマート防犯モデル事業の具体的な内容について伺いたい。
- (11) スマート防犯対策の今後の展開について伺いたい。
- (12) 子どもの見守り強化に向けた取組について伺いたい。

2 横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすびについて

- (1) よこむすびに対する声について伺いたい。
- (2) 消防団の活動もよこむすびの登録に加えるべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 自治会町内会ポータルの運用について

(1) 自治会町内会ポータルを活用するメリットについて伺いたい。

(2) 自治会町内会向けのサポート体制について伺いたい。

(3) 今後のポータルの利用率の目標とその達成に向けた取組について伺いたい。

(4) 他局が所管する申請等の手続についても、利用者目線に立った柔軟な機能拡充を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 自治会町内会における利便性向上と行政の事務効率化等にもつながると考えるため、しっかりと利用率の向上に努めていただきたい。

2 坂本勝司委員（国民主）

1 自治会町内会活動のDX支援について

- (1) 自治会町内会の役員の若返りを支援するためにも、事務負担の軽減、情報の迅速化など自治会町内会活動のDXの推進は重要な課題と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 基盤となるICT環境整備に対する支援について伺いたい。
- (要望) 現場の声を踏まえながら、実効性のある支援を進めていただきたい。

2 地域防犯へのDX活用について

- (1) 新たな防犯計画でDXを活用することの狙いについて伺いたい。
- (2) 防犯対策でのさらなるDX推進について伺いたい。

3 個性ある区づくりの推進について

- (1) 区づくり推進横浜市議員会議での議論を充実させるとともに、新たな予算枠を設けるなど、区の課題解決に向けた取組をさらに促進していく必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 区の事業と合わせて、区づくり推進横浜市議員会議での議論等について、情報発信を強化すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 白井正子委員（共産党）

1 行政サービスコーナーの廃止について

- (1) 住民票等の証明書の取得方法別割合について伺いたい。
- (2) 新たな機能を追加して、証明書発行の継続を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 行政サービスコーナーは、廃止ではなく、見直しを検討していただきたい。

2 地区センターにおける災害対策について

- (1) 地区センターでの避難訓練や備蓄の考え方について伺いたい。
- (2) 帰宅困難者一時滞在施設における備蓄の状況について伺いたい。
- (3) 利用者を含めた避難訓練の実施が必要であると考え、見解を伺いたい。
- (4) 防災力向上のため、災害時の実効性を高めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

1 個性ある区づくり推進費について

- (1) 個性ある区づくり推進費の創設趣旨について伺いたい。
 - (2) 令和8年度の都筑区事業の評価について伺いたい。
 - (3) 令和8年度予算における区の特性を生かした事業・取組について、保土ヶ谷区長に伺いたい。
 - (4) 令和8年度予算における区の特性を生かした事業・取組について、鶴見区長に伺いたい。
 - (5) 18区横並びではなく、各区が地域の特性を生かした取組を一層推進し、個性豊かな区づくりにつながる事業へと充実させていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 区に合った取組を積極的に行うとともに、市民局は区の取組を支えるための支援をしていただきたい。

2 区づくり推進基金について

- (1) 横浜市区づくり推進基金の設置趣旨について伺いたい。
- (2) 基金設置を契機に、寄附を待つだけでなく、区自らが主体的に財源確保に取り組むことが重要であると考え、見解を伺いたい。
- (3) 区の特性を活かした財源確保の取組や寄附金の活用が促進されるよう、全市的な視点から制度設計を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 地域の担い手支援について

- (1) 自治会町内会会長の在職年数によるアンケート結果の違いについて伺いたい。
- (2) 単年の任期でも課題を解消するための取組について伺いたい。
- (3) 自治会町内会の加入率低下に対する認識について伺いたい。
- (4) 令和8年度における自治会町内会の負担軽減策について伺いたい。

- (5) 委嘱委員に係る担い手確保の取組について伺いたい。
- (6) 各委嘱委員がより活躍できる機会を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 市民局における委嘱委員の人材発掘に係る取組について伺いたい。

4 地域活動への参加促進について

- (1) 市民活動支援センターが活動したいと思う方を活動参加につなげる方法について伺いたい。
- (2) 様々な活動団体を地域貢献につなぐための取組について伺いたい。
- (3) よこむすびを有効なサイトとしていくための考え方について伺いたい。
- (要望) 持続可能な区役所の実現に向け、区役所リ・デザインの取組として、地域主体の課題解決の支援を強化していただきたい。

5 スマート防犯シティ横浜について

- (1) ながら見守りの効果について伺いたい。
- (2) 地域の青色防犯パトロールメンバーを増やすための取組について伺いたい。
- (3) スマート防犯モデル事業の効率性と成果を両立させる仕組みについて伺いたい。
- (4) 子どもの登下校時の安心・安全対策へ与える効果について伺いたい。
- (5) 全市展開に向けた考え方について伺いたい。

6 よこはま安心ボックスについて

- (1) よこはま安心ボックスの事業趣旨及び概要について伺いたい。
- (2) 6700世帯とした予算の積算根拠について伺いたい。
- (3) 防犯の視点からの効果検証方法について伺いたい。
- (4) 脱炭素の視点からの効果検証も必要だと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 市民局が本事業の検討を開始した時期について伺いたい。
- (6) 本事業の予算案を確定した時期について伺いたい。

- (7) 本事業の予算案を確定した具体的な日付について伺いたい。
- (8) 短期間で作成した事業計画の完成度及び資料に基づく検討が十分に行われたのか伺いたい。
- (9) 財政局が予算査定を行う上で、納得し得る資料及び根拠を提出したのか伺いたい。
- (10) 本会議質疑では、当該意思決定に関する議事録等は不存在との答弁であったが、関連資料の有無について伺いたい。
- (11) 1億円以上の予算規模の事業について、当該事案と同様に短期間で意思決定された事例が他にあるのか伺いたい。

5 横山 勇太郎 委員（自民党）

1 犯罪被害者等支援事業について

- (1) 被害者支援の状況について伺いたい。
- (2) 主な連携機関及び連携内容について伺いたい。
- (3) 途切れのない被害者支援を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 情報公開システムについて

- (1) システム導入による市民の利便性向上について伺いたい。
- (2) システム導入による事務効率化について伺いたい。
- (3) システムの安全性の確保策について伺いたい。
- (4) システムを導入する意義について伺いたい。

3 区役所窓口の混雑対策について

- (1) 繁忙期における区役所窓口の混雑状況について伺いたい。
- (2) これまでの窓口混雑対策の取組について伺いたい。
- (3) 窓口の混雑緩和に向けたさらなる取組の展望について伺いたい。

4 市民活動保険事業について

- (1) 市が費用を負担してボランティア保険制度を設けることの意義について伺いたい。
- (2) 直近3か年の事故件数と予算額の推移、さらにコロナ禍前の平成29年度、平成30年度の事故件数について伺いたい。
- (3) 市民活動を支える制度として、今後の需要増に対する対応について伺いたい。
- (要望) 熱中症なども柔軟に対象に加え、活動者の安心・安全を確保できる制度となるよう、積極

的な事業展開と十分な予算確保をしていただきたい。

1 スマート防犯シティの推進について

- （１）スマート防犯シティというネーミングへの思いについて伺いたい。
- （２）GISマップ上の暗がりの箇所の考え方について伺いたい。
- （３）GISマップを活用した暗がりの解消方法について伺いたい。
- （４）電源がない場所における暗がりの解消方法について伺いたい。
- （５）押し型による防犯灯の設置方法について伺いたい。
- （６）宅配ボックス設置支援の補助率の考え方について伺いたい。
- （７）防犯条例の特徴について伺いたい。
- （８）毎日の安心・安全に向けた課題と対応について伺いたい。

2 発災時における災害ボランティアセンターの円滑な運営について

- （１）平時と災害時とのギャップを埋め、災害ボランティアセンターを効果的に運営するための備えについて伺いたい。
 - （２）被災者のニーズに沿ったマッチング機能の発揮について伺いたい。
 - （３）区における地域のニーズに応えられる災害ボランティアセンター運営のための備えについて、鶴見区長に伺いたい。
 - （４）区における地域のニーズに応えられる災害ボランティアセンター運営のための備えについて、保土ヶ谷区長に伺いたい。
 - （５）いかなる事態にあっても、災害ボランティアセンターを確実に設置・運営できるよう体制を整えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- （要望）市と社会福祉協議会が連携・協働し、災害ボランティアセンターのICT化による効率的・効果的な運営ができるよう進めていただきたい。

3 自治会町内会のDX推進について

- (1) 自治会町内会におけるDX推進に取り組む意義及び目的について伺いたい。
- (2) 今後の自治会町内会におけるDX推進の取組の進め方について伺いたい。

4 お悔やみ窓口について

- (1) お悔やみ窓口の評価について伺いたい。
- (2) 利用者からの御意見について、保土ヶ谷区長に伺いたい。
- (3) お悔やみ窓口における手続のワンストップ化をさらに進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 御遺族の悲しみに寄り添い、より利便性の高い窓口となるよう、さらなる充実を図っていただきたい。

5 区役所窓口のワンストップ化について

- (1) 区役所窓口のワンストップ化を進める背景について伺いたい。
- (2) 鶴見区での取組状況について、鶴見区長に伺いたい。
- (3) 先行区での取組を検証した上で全区展開を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 手話リンクの導入について

- (1) 手話リンクの導入に当たり工夫した点について伺いたい。
- (2) 手話リンクの職員への周知をしっかりと行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 国際平和の推進について

- (1) 市民局が国際平和を所管する意義について伺いたい。
- (2) 地域での多文化共生の取組について、鶴見区長に伺いたい。

(3) 市民局の持つネットワークを使い、市民レベルの取組を国際平和につなげるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 平和運動に尽力されてきた諸団体との連携はもとより、ピースメッセンジャー都市としての責務を胸に、これまでの歩みをより一層深化させていただきたい。

7 田 中 ゆ き 委員（立憲党）

1 スマート防犯シティ横浜について

（１）防犯まちづくり推進条例における地域特性に合わせた視点について伺いたい。

（要望）防犯まちづくりの実効性を高められるよう、各地域の声及び市民の声を十分に汲み取り、反映した取組を進めていただきたい。

（２）スマート防犯シティ推進における神奈川県警察との連携について伺いたい。

（３）宅配ボックス設置支援では、共同住宅についても積極的に支援すべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）共同住宅についても、戸数に応じた推奨ボックスを提示するなどの支援をしていただきたい。

（４）宅配ボックス設置支援について、関係各局と連携し、事業拡大を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 地域コミュニティの活性化について

（１）誰もが自分らしく、いきいきと暮らしやすい地域の姿について伺いたい。

（２）近所付き合いを控えたい、加入に躊躇するといった市民の声を踏まえて、自治会町内会のあり方を市民とともに考えていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

3 横浜市区づくり推進基金について

（１）令和7年度末の積立予定金額について伺いたい。

（２）職員が寄附者の思いを受け止め、寄り添った対応を行うための市民局の取組について伺いたい。

4 DV等被害者に係る支援措置について

- (1) DV等被害による支援措置申出者の声が市に届いているか伺いたい。
- (2) 更新期限を1年と定めている総務省の見解に対する市の見解について伺いたい。
- (3) 支援措置延長を必要とする方が、延長許可の確認・手続に確実につながるよう、当事者に寄りそった支援を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 人権施策の推進について

- (1) 市民に対する人権啓発をより充実・強化していく上で、本市が大切にしている視点について伺いたい。
- (2) 人権に関心がない方が人権へ関心を持ち、考え、行動変容できる場や機会を創出するため、従前の取組に捉われない新たな視点での人権啓発が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 差別や偏見は、重大な人権侵害であることをより広く市民に理解していただく取組が急務であると考え、見解を伺いたい。
- (要望) 人権施策は、単なる行政サービスや社会の付加価値ではなく、市民の皆様が人間らしく、安心して幸せに生きるための根幹をなすものであることを念頭に、今後人権施策により一層力を入れていただきたい。

6 性的少数者等の支援について

- (1) 性のあり方についての固定観念からくる、差別や偏見を生み出さない社会を目指す取組が重要であると考え、見解を伺いたい。
- (2) 未だに性的少数者等の方々が安心して暮らせない社会状況に対する認識について伺いたい。
- (3) 孤立しがちな当事者の方々への支援において工夫している点及びさらなる工夫が必要と考えるが、見解を伺いたい。

7 犯罪被害者支援について

- (1) 性犯罪被害者へのアプローチの強化がどのように図られたのか伺いたい。
 - (2) ノルレボの販売を機に、性犯罪被害者へ本市の支援が届くよう取組を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) 在住外国人の方に対するアプローチも強化していくことが必要だと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 被害者の目線に立ち、県と市の縦割り行政に横串を刺したワンストップ支援センターを設置すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 被害者に寄り添った、実効性のある切れ目のない支援を実施できる真のワンストップ支援センターを設置していただきたい。